

## 基本目標 1

### 【 家庭における子育てへの支援 】

- (1) 多様な子育て支援サービスの充実
- (2) 子育て支援のネットワークづくり
- (3) ひとり親家庭の自立支援の推進
- (4) 子育て家庭への経済的支援

施策の方向	(1) 多様な子育て支援サービスの充実
	平均点数 3.29
検証総括	子育て親子が気軽に集まれる場を増やしたり、連携体制を充実させたり、相談枠を拡大する等の対応をしてきているが、今後も継続して柔軟な対応を検討する必要がある。周知については主に広報紙、HPにより実施しているが、より効果的な方法の検討が必要である。
施策の方向	(2) 子育て支援のネットワークづくり
	平均点数 3.31
検証総括	「3」評価が多いが、多くの所管課は地域とのつながりを意識し、地域との連携や協同を図り事業を推進することで、子育て支援のネットワークを強化することができている。今後も連携方法を工夫しながら強化に努める必要がある。
施策の方向	(3) ひとり親家庭の自立支援の推進
	平均点数 3.75
検証総括	平均点が高く、今後もこれらの取り組みを継続していく。支援に漏れがないよう制度の周知も継続して努めていく必要がある。
施策の方向	(4) 子育て家庭への経済的支援
	平均点数 3.71
検証総括	平均点数が高く、今後もこれらの取組みを継続していく。市の単独事業としての経済的支援が進んだものもあるが、財政的な問題があるため、今後も国や県等の動向を見ながら支援の充実を検討していく必要がある。
基本目標 1	家庭における子育てへの支援
	平均点数 3.41
検証総括	著しく推進したという項目はなかったが、全体として支援体制は緩やかに前進した。事業等の周知方法にまだ検討の余地はあるものの、多様な形で周知・啓発活動を展開しており、一定の推進は評価できる。 いかに地域と連携し子育て支援を推進していくのかが、今後の検討課題である。

### 基本目標 3

#### 【 豊かな心・健やかな体を育む環境づくり 】

- (1) 次代の親の育成
- (2) 家庭の教育力の向上
- (3) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備
- (4) 地域における子どもの居場所づくりの推進
- (5) 子どもの人権が尊重される取組の推進
- (7) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

施策の方向	(1) 次代の親の育成
	平均点数 2.75
検証 証 括	継続して実施することで効果を挙げている事業もあるが、他と比べるとあまり推進できていない。異世代間交流等から生まれる貴重な体験の機会を増やし充実させていくために、地域の特性を活かした交流について検討する必要がある。
施策の方向	(2) 家庭の教育力の向上
	平均点数 3.27
検証 証 括	「3」継続実施の項目が多い中でも子育て関連のイベントを土曜日に実施し、父親の参加者増加には成果を挙げている。 今後も子育てに関する事業の充実や情報提供の検討とともに、相談事業についても体制の整備を含め、充実させる必要がある。
施策の方向	(3) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備
	平均点数 3.33
検証 証 括	「3」継続実施の項目が多いが、人権や情報モラル、防災防犯意識の啓発等は継続することで効果が出てくるものである。 子ども一人ひとりに応じた教育の実施という目標に向けて、今後も事業の推進、継続に努める必要がある。
施策の方向	(4) 地域における子どもの居場所づくりの推進
	平均点数 2.94
検証 証 括	点数の低さからも、大きな推進はできていないと言える。小中学校舎については空きがなく、他の公的施設でも一般利用者との兼ね合いや、施設管理等の問題があり、居場所の提供が進んでいない。 子ども同士の交流事業としては、各所管課が市民ニーズに応じた事業を展開し、推進できているところが多い。
施策の方向	(5) 子どもの人権が尊重される取組の推進
	平均点数 3.29
検証 証 括	「3」継続実施の項目が多いが、相談員の増員や体制の工夫等で推進できているところもある。今後の支援について事業内容を検討するだけでなく、継続実施していくために適切な対応のできる支援員・相談員をどう確保するかについても検討していく必要がある。

施策の方向	(7) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進
	平均点数 3.2
検証 総括	以前から各施設内で禁煙を実施し、子どもへの受動喫煙に対しては対応してきている。また、有害情報への対処については柔軟な対応を継続して実施していく必要がある。

基本目標 3	豊かな心・健やかな体を育む環境づくり
	平均点数 3.14
検証 総括	相談事業、啓発、学習機会や居場所の確保等、推進できたかどうかの評価・検証が難しい内容が多く、他の基本目標と比較すると、評価点数と進捗率のどちらも低いという結果になった。今のまま継続することで成果が期待できる事業か、事業の見直しが必要かどうかを検討し、支援体制の強化に努める必要がある。

## 基本目標 4

### 【 仕事と子育ての両立の推進 】

- (1) 保育サービス等の推進
- (2) 仕事と子育ての両立を図るための意識啓発

施策の方向	(1) 保育サービス等の推進
	平均点数 4.0
検 証 総 括	<p>平均点の高さが表すように、公立幼稚園での預かり保育の実施、民間保育所の誘致等を実施し、保育サービスの推進を図っているが、今後も待機児童の解消に向けて取組む必要がある。</p> <p>その他多様な市民ニーズにも柔軟に対応できるよう、子ども・子育て会議にも諮りながら今後より一層の保育サービスの充実を検討していく。</p>

施策の方向	(2) 仕事と子育ての両立を図るための意識啓発
	平均点数 3.33
検 証 総 括	<p>仕事と子育ての両立のためにも今後労働者に対する相談支援を充実できるよう、ハローワークを始めとする関係機関とより一層の連携を図る必要がある。また、子育てしやすい環境づくりについて、一般事業主等に対してはどのような啓発をしていくか検討する必要がある。</p>

基本目標 4	仕事と子育ての両立の推進
	平均点数 3.75
検 証 総 括	<p>全体的に推進している事業が多く見られる。</p> <p>仕事と子育て両立の意識を啓発する以上は、保育サービスを充実させなくてはならない。しかし現在多くの待機児童がいるため、今後も議論と検討を十分に重ねながら、早急な解決に努める必要がある。</p>

## 基本目標 5

### 【 親子が安心して快適に暮らせる環境の整備 】

- (1) 良好な居住環境の確保
- (2) 子どもにやさしい環境の整備
- (3) 犯罪や事故から子どもを守るための環境の整備

施策の方向	(1) 良好な居住環境の確保
	平均点数 3.0
検証 証 括	項目が一つしかないため、その評価が全てである。入居についての優遇措置は他世帯との均衡を考慮する必要があり困難であるが、住宅情報の提供については媒体や方法の検討を行うなど推進の余地はある。

施策の方向	(2) 子どもにやさしい環境の整備
	平均点数 3.83
検証 証 括	平均点が表すように推進できている項目が多く、関係団体と連携し、ソフト、ハード両面とも計画的に実施されている。問題が起こった際にも迅速に対応するなど、できる限り可能な範囲で支援の実施に努めており、今後も一層の施策の充実を図っていく必要がある。

施策の方向	(3) 犯罪や事故から子どもを守るための環境の整備
	平均点数 3.83
検証 証 括	項目全般で事業の大きな前進が見られる。防災防犯に対しては今後とも継続して啓発に取組み、行政間だけではなく地域や関係機関との連携も強化していく必要がある。

基本目標 5	親子が安心して快適に暮らせる環境の整備
	平均点数 3.77
検証 証 括	平均点数が示すとおり、推進して充実している事業が多く見られる。環境の整備については今後も地域、関係機関との連携を充実させ、子育て世帯にとって安全安心な体制作りに努める必要がある。